

ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報紙

Take free!

なほ

6月号
vol. 088

特集：都市のインフラ

油壱

という暇つぶし **B**



特集：都市のインフラ

楽塾

という暇つぶし 3

佐々木 敏明

楽塾 主宰 (株) ナイス非営利部門
「くらし応援室」所属

みんなのアリバイ

「楽塾」のお話しの最終回です。これまでは「楽塾」という、都市のインフラ。もどき脆弱な資源紹介をしてきました。今号では、「くらし応援室」や「楽塾」で、長い間つきあってきた主人公たちの、1日の生活に耳を傾けてほしいと思います。5月10日の楽塾で、「みんなのアリバイ」をテーマに授業をしました。日ごろは見えないように見えない、みんなのプライベートな暮らしを覗いてみようというものです。ちょっと露悪趣味だと非難されるのを覚悟で、塾生の塾生による5月10日の全生活史を語ってもらいました。つまりこの日の塾生たちの、起床時間から「楽塾」授業開始時間までのアリバイ証言です。

まず授業の初めにアンケート用紙を配りました。この用紙には「楽塾塾生1日の暮らし」と書かれています。就業や生活保護受給などの有無といった現在の状況や、この日の朝食・昼食の自炊・外食の別や、食材・外食にかかわる経費、購入場所（スーパーやコンビニ）などを問いました。

これらの記入後は、5月10日の行動という項目に移ります。起床時間から楽塾に到着するまでの1時間単位での動きを書き込み、それらの作業が終わると、各人から

発表をしてもらいました。とくに塾生の行動ではGoogleマップを利用し、プロジェクトで地図を大画面に映し、行動足跡をたどることにしました。今回は、5名の塾生の一日のストーリーを具体的に聞くことが出来たのでご紹介します。

初めのアリバイはAさん。映し出された地図画像の前に登壇し、今日の行動を話してくれました。それぞれが体験した1日限定のストーリーの始まりです。



Aさんのアリバイ

(男性 65才 非就労生活保護受給)

Aさんとは「楽塾」創設以前からの付き合いです。「くらし応援室」で就労のお世話をした経緯もある最初の塾生であり、常連さんでもあります。映画や小説が大好き。イラストが上手。

Aさんの起床は6時。朝食は缶コーヒー(100円)のみ。競馬情報を入れるため、「ローション」へスポーツ紙(140円)とタバコ(260円)を買いに。その後、朝食のため喫茶店「マミー」に行きモーニング(350円)を食べます。7時以降はTV鑑賞。10時、自宅の花園町から難波の場外馬券売場「ウィンズ」へ、当日明日の出走馬券(2000円)を買いに行きます。その途中、木津市場横を通り、難波中の郵便局で1万円を下ろしました。馬券購入後は日本橋を経由して、新世界のジャンジャン横丁「松屋」でうどん定食(650円)を食べます。12時に帰宅。14〜15時の間は銭湯「ヘルシーバス花園」(440円)に行き入浴。帰宅後はTVで16時まで競馬中継を楽しみました。

T S U T A Y A でレンタルします。この日も10時過ぎにビデオを見ました。13時ごろ1時間ほどの昼寝をしました。Cさんが行く常連スーパーは「イズミヤ」や「はやし」などで、買物の外出は自転車を利用しているそうです。楽塾に来るときはAさんと一緒に参加します。18時前に「楽塾」到着。10000円の給食及び参加費を支払います。

Dさんのアリバイ

(男性 50才 就労)

Dさんは「楽塾」創設以来の塾生。「くらし応援室」で就労のお世話をしたあと、勤務地で公園管理の中心的な立場で仕事を続けています。先日は故郷のお母さんが亡くなり、帰郷しました。

Dさんの仕事はこの日お休み。7時に起床し、朝食は喫茶店「雅路」でモーニング(350円)・パン・サラダ・アイスコーヒー)を食べます。8時までに帰宅し、Dさんが住むアパート内のコインランドリーで洗濯(300円)をしました。

今日の馬運は1万10000円のあたりをとっています。17時半過ぎ「楽塾」に行くために家を出ました。同じマンションのCさんと一緒に出かけます。18時前に楽塾到着。「楽塾」には参加費10000円を払いました。

Bさんのアリバイ

(女性 40才 就労 生活保護受給)

Bさんとは就労訓練のお世話をして以来のお付き合いで、楽塾の常連。最近、就労が決まり、ハツラツとして出勤しています。Bさ



アンケート記入中の様子

9時〜10時半の間、四つ橋線(往復360円)に乗り、難波の「ウィンズ」へ馬券購入に行きました。今日と明日のG1・G2(6000円)が目的です。

11時〜13時ごろまではTVを見て過ごし、昼食はスーパーで買った食材(340円)・アイスクリーム・パン・缶コーヒー)を食べます。13時から約1時間は「旭温泉」(440円)で入浴。14時〜15時までは再びTV観戦。16時以降は昼寝を楽しみ、18時過ぎに「楽塾」へ向かいます。参加費10000円を支払いました。

*Dさんは日曜く木曜が出勤になっています。勤務地は住吉区にあり自転車通勤しています。朝は6時半に出勤し、17時半ぐらいには仕事を終えて、近所のスーパー「越前屋」などで買物をする。

Eさんのアリバイ

(男性 70才 非就労 生活保護受給)

「楽塾」の多くの塾生たちが喫煙する中、Eさんは喫煙も酒もギャンブルもしません。二十年以上も

んの仕事は土日が休み。したがって本日は休日です。

8時半起床。朝食はパンとコーヒー(170円)を食べ、9時頃さらに喫茶店「ニュー・ウィング」でモーニング(350円)・アイス・トースト・卵・サラダ)を注文。

9時半から11時過ぎまで、以前就労訓練をしていた「社会福祉研修・情報センター」に寄り、訓練担当者に会いました。図書室で本を借り11時半に帰宅。その後TV鑑賞。14時に録画をしていた「相棒」のビデオを楽しみ、15時に「スーパー玉出」に行つて、キムチ、ねぎ、ふかしサツマイモ(260円)を購入し16時に帰宅。16時半、ビデオの続きを見て、そうめんを食べる。17時にTVニュースを見たあと、17時40分「楽塾」に行くため家を出ました。18時前に「楽塾」到着。参加費10000円を払います。

*Bさんの月々金曜日までは谷町4丁目の仕事場へ勤務します。毎朝8時40分に四つ橋線花園町駅から本町を経由し、谷町4丁目まで地下鉄通勤。社内はビジネスマン、キャリアウーマンが多く、これまでの仕事場以上に毎日が刺激的で新鮮。何よりも会社の社風が良く気に入っている

前に患って入院した経験から、すべてをやめています。日ごろから生活保護の受給額は、自分の生活にとって十分な金額だと話しています。楽塾では西成区だけに限らず、他区ないし他市から通塾する塾生がいますが、Eさんは此花区から徒歩で1万歩をかけて来てくれる常連です。健康と精神が調和した「楽塾」の仏さんといわれて、以前「NPOワークレッシュ」の和久さんは、「Eさんは高野山の高僧なんかより神々しい」と話していたことを思い出します。

8時に起床。8時半の朝食(150円)・食パン4枚切を2枚・ゆで卵・りんご1個・バナナ1本)は自炊です。これらの食材はスーパー「ライフ」で購入。その後は、TVが無いのでラジオを聴いて過ごします。12時半に昼食(100円)・白米と麦の5分飯(1合分を炊く)を自炊。おかずは前日のおでんの残りを頂きました。昼食にかかった費用(1000円)。14時に此花の自宅を出発し43号線を徒歩で西成に向かいました。16時半頃、「三星温泉」(440円)に入湯し、17時ごろ風呂を出て長橋公園で休憩。約30分ほど体を冷やすことにしています。18時、再

のです。勤務帰宅時は、明日のお弁当の食材を買うため「イズミヤ」に寄つて帰るそうです。

Cさんのアリバイ

(女性 70才 非就労 生活保護受給)

「私はほとんど引つ込み派」というCさん。Aさんと同じマンションであることから「楽塾」のおなじみさんになり、身体の調子が良い時には、「楽塾」参加してくれるようになりました。Aさん同様映画の大好きな女性です。お孫さんと会うのが楽しみなようです。

6時に起床し、自宅のお風呂に入り、コーヒーとパンで朝食(280円)をすまします。喫茶店でのモーニング外食は、時折利用するといえます。食材はイズミヤで買うそうです。

ふつう病院には、月・水・金曜日に行きます。通院は、8時半ごろ「川西病院」で診察しますが、順番が早いいため、9時過ぎには帰宅しています。とくに上下ともかなり低血圧なので気にしているようです。普段はDVDなどを

<塾生たちにも聞きました>

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
楽塾の印象を、他の人に宣伝するとしたら、どんな言葉でPRしますか?	毎回面白いことがあって、色々な人が集まりワイワイやっている	給食が楽しい	?	週に1度のひまつぶし	人と人がつながる感じがおもしろい
楽塾への苦言・提言など	なし	特になし	なし	特になし	何もなし
いま人生の満足度はどのくらい?	普通	家以外は満足しています	80% ぐらいかな	70%	80%
心配な健康状態は?	運動不足がち	股関節が痛いこと、精神的に不安定です	毎日あります 低血圧が少し気になる	特になし	あります 血糖値が高いこと

び三星温泉地下の「楽塾」に到着しました。10000円が「楽塾」の給食と参加費用。

こうして楽塾は、いつものように集い、話し、給食を食べ、散会していきます。

[田岡秀朗] 映画監督のYさんからなび編集チームに応援ハガキが届きました。手書きのメッセージはなんだか心が温まります。

サウスオブミナミ

vol.14

楽塾まで一日

今回は、特集「楽塾の暇つぶし」で取り上げた、西成のまちで暮らしたご熟生たちの休日をマップにしてみました。近所での買い物も、いつもの散歩も、馴染みの場所への顔だしも、ちょっと息抜きの遊びも、みんなのまちでの出来事。楽塾のあった一日を振り返りながら、その様子をちょっとのぞいてみます。



Eさんの住まいは、最短コースでも7kmほどある此花区。毎日てくてく歩いています。



大きな道や小さな道、橋もいくつか渡って、いろんな風景を眺めながら楽塾に向かいます。



銭湯のあとは近くの公園で、ほったた体を木陰で風にあてながら、夕涼み。



朝食は喫茶店のモーニングで。この近くには、たくさん喫茶店があります。



休日は、コインランドリーで洗濯。日曜日からのお仕事に備えます。



競馬に行ったあとは近所の銭湯へ。その後は自宅で休日を過ごして、締めくくりは楽塾。



お買いものは商店街で。この日はスーパーで食品を買いました。



朝食は350円のモーニング。5、6人の子連れと、年輩の方がお店にいました。



以前、お世話になった社会福祉研修・情報センター。身近にある大きな施設です。



Bさんのご近所は静かな路地の一角に。西成には長屋もたくさん残っています。



Aさん、Cさんのご近所。商店が軒を連ねて下町の雰囲気だよう地域で暮らす。



商店街から地域く入口がのぞくコンビニ。スポーツ新聞とタバコを購入した後は競馬に。



帰りはあちこち寄り道を。新世界では、安くておいしいうどん屋で立ち食い。



夕方前に、近所の銭湯でさっぱりくつろいでから、楽塾へ。

ナイスな仲間たち

「なび」をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

VOL.03 西成支部青年部



仕事づくりのパートナー 西成支部青年部の活動

西成支部青年部は、「第21回青年部大会」以降、西成リスタートを中心に「仕事」をつくり、若者とのつながりを育んできました。そうした結果、毎年開催する「青年部大会」には、約20人の青年が集まります。

2013年度からは、新たな取り組みとして、関係企業や団体と連携して「ハウスクリーニング」の事業を始めました。このように「仕事」からつながり、様々なまちづくりや活動で活躍する青年が少しずつ増えています。

また、地区外に居住する若者ともつながりをつくるため、ZOO青年部の設立を現在模索しています。

(西田吉志)



- 【盆踊り大会】
設営や片付け、出店など若者が中心となって地域の様々なイベントを支えています。
- 【復興支援ボランティア】
2011年3月に起きた東日本大震災以降、4度にわたり被災地復興のお手伝いをさせていただきました。
- 【西成若者塾と青年部連続学習会】
それぞれ毎月1回、講師を招いて様々なテーマの学習会を開催しています。
- 【小・中学校での講義】
長橋小学校や鶴見橋中学校などに毎年招かれ、卒業生との対話やつながりづくりに取り組んでいます。
- 【交流会】
全国青年集会への参加や青年部忘年会、鶴見橋中学校クラブ生とのスポーツ交流など様々な場面で交流を深めています。

西成支部青年部
〒557-0025 西成区長橋 3-7-28 ブランコート 2階
電話：06-6561-8800 担当：西田
E-MAIL：nishida0429@yahoo.co.jp

いい湯かげん

仏のソーシャル・ファームがやってくる

残念ながらボクは出席できなかったイベントが6月7日、北海道の十勝で開催された。「仏ジャルダン・ド・コカーニユに学ぶ就労支援シンポジウム」がそれで、炭谷茂さん(済生会理事長)が主宰し、ボクも運営委員に名を連ねさせていただいているソーシャル・ファーム・ジャパン(SFJ)等が実行委員会をつくり、ジャルダンの創始者ジャン・ギイ・ヘンケルさんを招へいするイベントだ。


昨年の3月に、谷垣法務大臣も訪問されたことはニュースで知っているが、ジャルダンは、いま注目の仏の社会的企業(法人格はNPO)だ。耕作放棄地

を利用した有機農作物の直販システムで、仏全土に1200箇所、4000人の社会的弱者の雇用を実現し、1ha当りの販売価格が1000万円を超える有機農業を行っているというからすごい。ジャルダンが掲げる4つの憲章は、①社会的に排除された人々に価値ある仕事を提供する、②環境に配慮した農業を実践する、③販売は契約している定期購買者向けに行う、④地域経済の発展に協力していくことだ。

ジャルダンの運営収入は、3割がBIO野菜販売による収入で、4割が国からの社会保障費、3割が民間企業などからの寄付だ。

「なんだ。なんせ名高い農業大国の仏のことだから、スケールが違う。しかし、一つは、あらためて就労支援が国際的にも焦眉の課題になっていること。二つは、西成の社会福祉法人なども水耕栽培農園を事業化しているが、日本の耕作放棄地は200haで大阪府の面積の2倍にもなり、農は有力な政策市場であること。三つは、農業と福祉(就労支援)のコラボは、格好のユニバーサル・デザインであることを、北海道の大地で実体験できる機会には有意義で、参加できないことは無念に尽きる。SFJは2008年に発足したが、北海道の共働学舎新得農場や、滋賀のがんばりシンフォニー、和歌山の麦の郷等6施設がSFJのロゴマークを授与している等、事業を展開し始めている。

「ずつと前、ボクはイギリスやイタリアを訪問した時にも痛感したのだが、欧州の社会的企業や社会的協同組合の社会的弱者を包



ナイス代表取締役
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

【四井恵介】やりたかった新しい仕事を始めたり、結婚したり、子どもができたり、居るのがツライ場所に見切りをつけたり、人生の駒をちょっとずつ進めてるひとがちらほら。ライフイベントって変わっていく感が出ていいなーと、いまさらながら。

【新田沙保里】いきなり30℃の夏日を記録しました...そろそろ夏バテ対策をしていかなくては。

【高橋静香】先日、「お産の話聞く会」を開催しました。同じ行いでも千差万別。みんな違う体験をされていて感慨深かったです。という私も7月に第2子出産予定！お産、楽しもうと思います！



枝葉末節

ミュージック フロム ビッグ'70 (1)



hidarimaki こと佐々木です。
食卓での鮎肉は絶えて久しい。
しかし鮎鮎は伝承の文化だ。
太地を思え。

70年は「日本万国博」という華国一致の大イベントに湧いた年であった。その頃私は、このイベントに出展するクライアントの仕事をしてはいたが、開催中、千里の万博会場に遂に行くことは無かった。「人類の進歩と調和」なるスローガンになじめなかったこともあるが、だいたい大量動員されるイベントの場が苦手で、つまりは人いきれの中が嫌いなのだ。同年上映された山田洋次監督の「家族」という作品を見たとき、共鳴する場面があった。九州の炭鉱が閉山し、仕事のない主人公たち家族は北海道に移住する際、大阪に立ち寄る。万博会場の正面入口に立ち、母が小さな息子に「これが万博よ。よく見ておきなさい」といって、しかし入場することなく帰っていくきわめて短いシーンだ。万博という国民的熱狂を冷やかにカメラ



今月の花：
カシワバあじさい

花言葉
「皆をひきつける魅力」

北アメリカ生まれの「元気な女性」の汚れなき心。
わたしの理想、憧れの花です。

真夏のような暑い日が増えてきました。体調を崩しやすいこのころです。私も、難病のピーチエット病なので一年の内で6月が一番つらい時期です。でも、この時期は、きれいな花が色とりどり咲いています。お店の周りを見てもきれいな花がいっぱい咲いています。元気がもたえます。ファイト！
このまちで花...？何年前か前では考えられなかったな。
(なんばひとみ)



に取め、私は秀逸だと思った。
お化け屋敷と変わらない子どもだましのパビリオンや、未来科学がなんぼのもんじやとハスに構え、世俗に背を向けていた私と同じような友人たちもたくさんいた時代のことである。そんな大仕掛けのイベントや国家主導は、小市民を餌食にしたものとして嘲笑していたのだ。
69年にアメリカのニューヨーク近郊で行われた「ウッドストック・フェスティバル」のライブ映画が、万博の年、日本で上映された。その映画のキャッチは「愛と平和の3日間」。会期が半年以上も続く万博のうすら寒い「進歩」より、3日間限定の「平和」のほうに真実味があり、なにより音楽が好きだから身近で、ずっと親密な感じがした。
このロック・イベントには、それまでレコードだけでしか聴けなかったミュージシャンたちがたくさん参加していた。CSN&Y、バンド、スライ&ファミリーストーン、リッチー・ヘヴンス、J・パエズ、ジミ・ヘンドリクス、サンタナ、ジェファーソン・エアプレイン、ザ・フー、J・ジョプリンら30組（写真はウッドストックのライブLP）。多彩で贅沢なミュージシャンの音楽に加え、映画とはいえ、ウッドストックの丘に集まった40万人！もの大量動員の聴衆にはたまけてしまった。こんな



日本では見たことがなかったこれこそ私の1970年のこんにははりトであった。
その頃の私は、大戦中日本に原爆を落とし、ベトナム人の殺戮を続ける米帝が大嫌いだったが、このアメリカ映画だけは違うアメリカだと、能天気都合よく思っていた。とくに始めにギター一本で「フリーダム」を歌ったリッチー・ヘヴンスの孤高で超越的風貌は、この映画の平和という甘いイメージを拒否する象徴的シーンだったと私は思う。またエンディングでのジミ・ヘンは、「アメリカ国歌」を重量級のエレキギターをぶんぶんかき鳴らし、果てはそのギターを叩きつけて壊してしまふ。これまたものすごい衝撃だった。
いつなんどき徴兵され、ベトナム行きの渦中にいた青年たちの体感する「愛と平和」と、沖縄からベトナムという戦場に行く米兵を見て、「アメリカ帰れ」とシユプレヒコー

ピースのつばやま



ピースの育ての母の赤井まゆみです。ピースがお喋りしたい事や思っている事を、これからもたくさん感じ取って、みなさんにお伝えしたいと思っています。

「雲のち雨のち晴れ」
お母さんのひざまくら。
気持ちよくて、そのまま夢の世界に遊びに行った。
公園を元気に走り回ったり、お友だちとたくさん遊んだ。
しばらくすると空からぼつぼつ雨粒が落ちてきた。
冷たくてびっくりりして目が覚めた。
でもまだぼつぼつ雨粒が落ちてくる。
お母さんの目からぼつぼつ雨粒が落ちてくる。
私は「どうしたの？」と行って、ペロリとお母さんの顔をなめた。
しよっぱい雨だった。
私は早くしよっぱい雨が止むようになってお母さんを笑わせた。
するとお陽さまみたいな笑顔が顔出したワンワン。

赤井まゆみ

ルするだけの私の観念だけの「愛と平和」の間には、密度に確実な差があったのだ、と後々想像するようにはなっていく。今でこそ、そんなことも考えさせるフェスティバルでもあったのだが——当時の私には、それより「愛と平和」は天からの授かりものくらいにしか考えていなかった。だからウッドストックの全てがかっこよく、ロックや音楽のすこさを楽しむ大きな出来事だったとしか思えなかった。
その後、私たちの国のあちこちでロックやフォーク・イベントが行われるようになっていく。関西では円山公園野外音楽堂、アンダーグラウンドなイベント拠点であった京大西野講堂、春一番の天王寺野外音楽堂、プロテスタントとして自然発生したフォークゲリラの場である大阪駅や中之島公園など。ウッドストックとは比較にならない規模の小さいもので、人いきれにも気にならないこんな場所での音楽が、私の体を揺らした。しかし、いつもあの大規模なロック・イベントである「ウッドストック」の幻影が離れず、たえず日本の泥臭さとミュージシャンの不満足だけが残った。なぜ、あんなかっこいいロックが見られないのかと、消化不良のよちな気分だった。
(この項続く)

hidarimaki



思ったら! にしなりカレンダー

梅雨にもまけず、あれこれいろいろ編

アートにふれよう

Monsoon (モンスーン) /

つき山いくよ+尾崎カズミ 2人展

絵描きつき山いくよと、イラストレーター尾崎カズミの異なる個性が交錯したり離れたり。ドローイングと木版画を中心に二人の柔らかく軽やかな気配が季節風のように吹き抜けます。

日時：6月13日(金)-22日(日)
13:00-19:00(最終日17:00)

場所：ギャラリーあしたの箱(岸里東1-6-7)

TEL/FAX：06-6659-8892

WEB：<http://www.ashitanohako.com/>

※期間中イベント

6月14日(土)14:00より、ベートルズ(うたとギター)のLiveを開催。モンスーンをテーマにした曲のお披露目もあり。投げ銭制。

親子で料理

調理講座

西成区保健福祉センターの調理室で親子調理講座を開催。「和風カレー丼・和風サラダ・豆腐スープ・ゼリー」をつくります。調理中は一時保育あり。

日時：6月18日(水)10:00-12:00

対象：1歳6か月～就学前の子どもと保護者

定員：12組(先着順)

持ち物：エプロン・三角巾(バンダナ、大判のハンカチでも可)・ハンカチ・お茶

※材料費として実費。詳細は申し込み時(電話または来館)にお知らせします。

問合せ：西成子育て支援センター

TEL：06-6562-6308

いろいろ相談/作法から踊りまで

えんがわ健康相談会

商店街の一角、カマン!メディアセンターでぼちぼち開催中の健康相談会。血圧をはかり、おくちのケアを学びましょう。看護士さんと歯科衛生士さんが来て、みんなの相談にのってくれます。

日時：6月18日(水)14:00-15:00

参加：無料・カンパ歓迎

初心者向け日本舞踊教室

カマメでちょこちょこ開催される舞踊教室。あいさつなどの所作にはじまり、日舞の基本を習います。曲に合わせて舞うことにもチャレンジします。毎回、簡単なところから始まりますので、初心者の方からどうぞ。

日時：6月14日(土)・28日(土)10:00-10:30

参加：500円

講師：石橋友美

場所：カマン!メディアセンター(太子1-11-6)

問合せ：ココルーム(NPO法人こえとことばとこころの部屋)

TEL：06-6636-1612

WEB：<http://www.kama-media.org/index.html>

地域の居場所を体験

ひと花センター地域開放「ひと花ゆめひろば」

今月も、ひと花センターを地域に開放する日「ひと花ゆめひろば」が開催されます。ひと花プロジェクトは、一人暮らしの高齢者で生活保護を受けている人のつながりづくりの事業。この日はだれでもひと花センターに遊びに行ける体験日です。

日時：6月21日(土)10:00-14:00

場所：ひと花センター(花園北1-2-19)

TEL：06-6649-7890

WEB：<http://hitohanap.org/>

あとがき

3か月連載してきた特集「楽塾という暇つぶし」。最後は、楽塾を通じて出会ったメンバー一人ひとりの暮らしから見てくるこのまちのイメージも、サウスオブミナミでちょっと触れてみました。さて、その「楽塾」は、来月7月に7歳になります!そして「なび」も今号でvol.88。あと一年で100号を迎えます!ひと足はやく、記念日のな気持ちで今月号も校了。

(平川)

なび6月号(vol.88)

発行日：2014年6月10日(創刊日：2007年1月1日)

発行：株式会社ナイス

発行人：代表取締役 富田一幸

印刷：有限会社前山企広

住所：大阪市西成区長橋3-6-33 電話：06-6563-1156

E-mail：info@nice.ne.jp url：<http://www.nice.ne.jp/>

編集長：佐々木敬明

編集・表紙写真撮影：田岡秀朗、平川隆吾、四井恵介、飯田沙保里

イラスト：hidarimaki

デザイン：高橋静香

表紙の写真「路地裏の傘。鶴見橋商店街近くの路地で撮影。」